

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部	小学部		学 年	6年	
教科等名	国語・算数(朝の学習)		グループ名	2組	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・文字や数字の学習を積み重ね、生活の中で読める文字や数字を増やす。 ・課題が終わったら「できました」、分からない課題があったら、「手伝ってください。」と、伝えることができる。 ・20分程度集中して、決められた課題に自分から取り組むことができる。 				
担当教員	南出 裕香				
予定授業時数	106.2/256.8				
使用教科書	東京書籍 こくご☆☆☆ 教育出版 さんすう☆☆☆				
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
4 5 6 7	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中で使う言葉を知ろう ・平仮名や片仮名を書いてみよう ・数を数えてみよう ・計算してみよう 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ボタン、スナップ、ファスナー、バックル、クリップ ・紐通し ・蝶結び ・キャップの開閉 ・箸やトングの操作 ・はさみの直線・曲線切り ・色、模様、マーク、形の識別 ・文字のマッチング ・平仮名、片仮名を読む(清音、濁音、半濁音、拗音、促音) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分から教材を用意し、課題に取り組むことができる。 ・いろいろな教材に合わせた手指の操作ができるようになる。 ・正しく書ける平仮名や片仮名を増やす。 ・平仮名を見分けたり、単語を構成したりすることができる。 ・筆記具を正しく持って書くことに慣れる。 ・始点と終点を意識して線を引くことができる。 ・身近な数概念や上位概念について触れ、理解することができる。 ・20分程度集中して、決められた課題に自分から取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いて課題に取り組める環境を設定する。 ・スモールステップで、自立してできる課題と、教員と一緒に学習する課題を混ぜる。 ・個々の課題に合ったワークシートを用意し、使用する筆記具も、個々の実態に合ったものを用意する。
9 10 11 12	<ul style="list-style-type: none"> ・平仮名や片仮名で書ける言葉を増やそう ・数えられる数を増やそう ・時計の意味を知ろう ・計算してみよう 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・単語や文を構成する ・名詞、動詞、形容詞、助詞にふれる、理解する ・カテゴリーに分類する ・漢字の読み、書き ・音読、読解(5W1H) ・推薦本の取り組み(本を選ぶ、コメントを書く) ・好きな本の紹介 ・見比べて選ぶ、仕分ける ・数唱する ・数字を順に配列する ・数字、数量の弁別やマッチング ・マトリクス 	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい姿勢で、課題に取り組むことができる。 ・手指の操作性を高める。 ・読める平仮名や片仮名を増やす。 ・自分で書ける単語を増やす。 ・好きな本を選び、友達に紹介する。 ・鉛筆やマーカーペンで、筆圧に気を付けながら線を引くことができる。 ・簡単な足し算や引き算のやり方が分かる。 ・物と対応させながら数を数えることができる。 ・カレンダーを見て数字を読んだり、時計の文字盤を見て数字を読んだりすることができる。 ・課題が終わったら、「できました」と報告することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題が分かりやすく、達成感が味わえるものを用意する。 ・初めて取り組む課題は課題数を減らして、手本を示す。徐々に課題数を増やす。 ・タブレット端末のアプリを活用し、学習意欲を高められるようにする。
1 2 3	<ul style="list-style-type: none"> ・時間の管理ができるようになる ・丁寧な言葉を使ってみよう ・計算してみよう ・中学部に向けて、できることを増やそう 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・数の合成分解(5の塊、10の塊を意識する) ・時計 ・平面タングラム、立体積み木 ・計算(足し算、引き算、筆算、掛け算) ・文章題 	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい姿勢を一定時間保って、課題に取り組むことができる。 ・筆記具の持ち方を知り、正しい姿勢で書くことができる。 ・身近な単語を中心に、語彙を増やす。 ・運筆力を高め、丁寧に線を引くことができる。 ・時計の読み方が分かるようになる。 ・時計を意識したり、時計とイラストのマッチングをさせたりする。 ・分からない課題があった時は、「手伝ってください」と、伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の実態に応じて、時間内に終わるように課題の量を設定する。 ・終了時間を事前に提示して、見通しをもって課題に取り組めるようにする。
通年	・本に親しもう		・図書室の利用	・図書室の使い方を知り、様々な本に親しむ。	・興味・関心が広がるよう、児童に応じた本選びの支援をする。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部	小学部		学 年	6年	
教科等名	国語・算数(朝の学習)		グループ名	3組	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 言葉や文字、数量や図形などに関わる基礎的な知識や技能を身に付ける。 物の形や数に気付き、見比べたり違いを表したりすることができる。 言葉や数の学習に意欲的に取り組む態度を身に付け、生活の中で生かそうとする。 				
担当教員	南澤 知美				
予定授業時数	106.2/256.8				
使用教科書	東京書籍 こくご☆☆☆ 教育出版 さんすう☆☆☆				
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
4 5 6 7	<ul style="list-style-type: none"> 手や指を使って結んだり畳んだりしよう いろいろな文字を読もう、書こう 数を数えよう、書いてみよう 自分から課題に取り組もう 	○	<ul style="list-style-type: none"> ボタン留め 紐通し 蝶結び 箸やトングの操作 はさみの直線・曲線切り のりやシール貼り 文字のマッチング 平仮名、片仮名を読む(清音、濁音、半濁音、拗音、促音) 	<ul style="list-style-type: none"> 自分から教材を用意し、課題に取り組むことができる。 読むことができる平仮名や片仮名、漢字を増やす。 平仮名を見分けたり、単語を構成したりすることができる。 学習時の姿勢を意識することができる。 始点と終点を意識して線を引くことができる。 身近な数概念や上位概念について触れ、理解することができる。 15分程度集中して、決められた課題に自分から取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 落ち着いて課題に取り組める環境を設定する。 スモールステップで、自立してできる課題と、教員と一緒に学習する課題を混ぜる。 個々の課題に合ったワークシートを用意し、使用する筆記具も、個々の実態に合ったものを用意する。
9 10 11 12	<ul style="list-style-type: none"> 数を数えよう、計算しよう いろいろな表現を読もう、書こう 報告や質問の仕方を覚えよう 本に親しもう 	○	<ul style="list-style-type: none"> 単語や文を構成する 名詞、動詞、形容詞、助詞にふれる、理解する カテゴリーに分類する 漢字の読み、書き 音読、読解(5W1H) 図書室の利用 好きな本の紹介 推薦本の取り組み(本を選ぶ、コメントを書く) 数唱する 数字を順に配列する 数字、数量の弁別やマッチング マトリクス 数の合成分解(5の塊、10の塊を意識する) 時計 平面タングラム、立体積み木 	<ul style="list-style-type: none"> 正しい姿勢で、課題に取り組むことができる。 手指の操作性を高める。 正しく書くことができる平仮名や片仮名、漢字を増やす。 簡単な足し算や引き算のやり方が分かる。 カレンダーを見て数字を読んだり、時計の文字盤を見て数字を読んだりすることができる。 筆算のやり方が分かり、正確に解くことができる。 課題が終わったら、「できました」と報告することができる。 分からない時に、「手伝って下さい」と伝える練習をする。 図書室の使い方を知り、様々な本に親しむ。 好きな本を選び、友達に紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> 初めて取り組む課題は教員と手順を確認し、正しいやり方で取り組めるようにする。 タブレット端末のアプリを活用し、学習意欲を高められるようにする。 児童の実態に応じて、時間内に終わるように課題の量を設定する。 終了時間を事前に提示して、見通しをもって課題に取り組めるようにする。
1 2 3	<ul style="list-style-type: none"> よく考えて数えよう、計算しよう 平仮名、片仮名、漢字を使って書いてみよう 中学部に向けて、できることを増やそう 	○	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな計算(足し算、引き算、筆算など) 文章題 	<ul style="list-style-type: none"> 正しい姿勢を一定時間保って、課題に取り組むことができる。 ボタン留め、紐結びなど、手指の操作性を高める。 身近な単語を中心に語彙を増やす。 文章題に親しみ、実態に応じた難易度の読み取りをすることができる。 時計や時刻の計算の考え方を知る。 分からない課題があった時は、「手伝ってください」と、伝えることができる。 間違いを怒らずに修正することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 興味・関心が広がるよう、児童に応じた本選びの支援をする。 課題が分かりやすく、達成感が味わえるものを用意する。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部	小学部		学 年	6年	
教科等名	国語・算数(朝の学習)		グループ名	4組	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉や文字、数量や図形などに関わる基礎的な知識や技能を身に付ける。 ・物の形や数に気付き、見比べたり違いを表したりすることができる。 ・言葉や数の学習に意欲的に取り組む態度を身に付け、生活の中で生かそうとする。 				
担当教員	楠森 誠				
予定授業時数	106.2 /256.8				
使用教科書	東京書籍 こくご☆☆☆ 教育出版 さんすう☆☆☆				
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
4 5 6 7	<ul style="list-style-type: none"> ・手や指を使って結んだり畳んだりしよう ・いろいろな文字を読もう、書こう ・数を数えよう、書いてみよう ・自分から課題に取り組もう 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ボタン留め ・紐通し ・蝶結び ・箸やトングの操作 ・はさみの直線・曲線切り ・のりやシール貼り ・文字のマッチング ・平仮名、片仮名を読む(清音、濁音、半濁音、拗音、促音) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分から教材を用意し、課題に取り組むことができる。 ・読むことができる平仮名や片仮名、漢字を増やす。 ・平仮名を見分けたり、単語を構成したりすることができる。 ・学習時の姿勢を意識することができる。 ・始点と終点を意識して線を引くことができる。 ・身近な数概念や上位概念について触れ、理解することができる。 ・15分程度集中して、決められた課題に自分から取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いて課題に取り組める環境を設定する。 ・スモールステップで、自立してできる課題と、教員と一緒に学習する課題を混ぜる。 ・個々の課題に合ったワークシートを用意し、使用する筆記具も、個々の実態に合ったものを用意する。
9 10 11 12	<ul style="list-style-type: none"> ・数を数えよう、計算しよう ・いろいろな表現を読もう、書こう ・報告や質問の仕方を覚えよう ・本に親しもう 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・名詞、動詞、形容詞、助詞にふれる、理解する ・カテゴリに分類する ・漢字の読み、書き ・音読、読解(5W1H) ・推薦本の取り組み(本を選ぶ、コメントを書く) ・図書室の利用 ・好きな本の紹介 ・数唱する ・数字を順に配列する ・数字、数量の弁別やマッチング ・マトリクス ・数の合成分解(5の塊、10の塊を意識する) 	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい姿勢で、課題に取り組むことができる。 ・手指の操作性を高める。 ・正しく書くことができる平仮名や片仮名、漢字を増やす。 ・簡単な足し算や引き算のやり方が分かる。 ・カレンダーを見て数字を読んだり、時計の文字盤を見て数字を読んだりすることができる。 ・筆算のやり方が分かり、正確に解くことができる。 ・課題が終わったら、「できました」と報告することができる。 ・分からない時に、「手伝って下さい」と伝える練習をする。 ・図書室の使い方を知り、様々な本に親しむ。 ・好きな本を選び、友達に紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題が分かりやすく、達成感が味わえるものを用意する。 ・初めて取り組む課題は教員と手順を確認し、正しいやり方で取り組めるようにする。 ・タブレット端末のアプリを活用し、学習意欲を高められるようにする。
1 2 3	<ul style="list-style-type: none"> ・よく考えて数えよう、計算しよう ・平仮名、片仮名、漢字を使って書いてみよう ・中学部に向けて、できることを増やそう 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・時計 ・平面タングラム、立体積み木 ・さまざまな計算(足し算、引き算、筆算など) ・文章題 	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい姿勢を一定時間保って、課題に取り組むことができる。 ・ボタン留め、紐結びなど、手指の操作性を高める。 ・身近な単語を中心に語彙を増やす。 ・文章題に親しみ、実態に応じた難易度の読み取りをすることができる。 ・時計や時刻の計算の考え方を知る。 ・分からない課題があった時は、「手伝ってください」と、伝えることができる。 ・間違いを怒らずに修正することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の実態に応じて、時間内に終われるように課題の量を設定する。 ・終了時間を事前に提示して、見通しをもって課題に取り組めるようにする。 ・興味・関心が広がるよう、児童に応じた本選びの支援をする。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。